



し し せ き きゅうりくぐんちょうふひこうじょう しらいとだいえんたいごう
市史跡 旧陸軍調布飛行場 白系台掩体壕 特別公開

令和8年11月3日（火）午前10時～午後4時（荒天中止）

※午前10時、午前11時、午後2時より学芸員による解説を行います

「市史跡 旧陸軍調布飛行場 白系台掩体壕」は、太平洋戦争末期の昭和19年（1944）に調布飛行場周辺に戦闘機を空襲から守るために造られた格納施設（いわば「戦闘機用の防空壕」）です。

終戦後80年以上経過し、戦争の記憶が風化していく中、市では当時の状況や平和の尊さを次世代へと伝えていくための貴重な文化財（戦争遺跡）として、掩体壕を保存しています。

「東京文化財ウィーク2026」及び「府中市平和都市宣言40周年」に合わせ、普段は入れない掩体壕の内部を公開します。ぜひご来場ください。



白系台掩体壕



昨年の特別公開の様子

■所在地

府中市白系台2丁目17番地

■交通

西武多摩川線 白系台駅から徒歩5分

京王線 武蔵野台駅から徒歩5分

ちゅうバス 白系台二丁目バス停から徒歩2分

（駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください）

「被爆樹木二世 アオギリ」～ 平和の樹 ～

広島市より譲り受けた「被爆樹木二世 アオギリ」です。

平和都市宣言30周年を記念し、白系台掩体壕のそばに植樹された苗木は現在、平和のシンボルとして大きく成長しています。

あわせてご覧ください。

